

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	南海高野線連続立体交差事業			シート番号	D 建設・整備事業
担当部署名	建設	局	道路	部	連続立体推進
				課	評価責任者(課長名)
					山路

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法 踏切道改良促進法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>鉄道が道路と交差する踏切では、交通渋滞や事故が発生しており、また鉄道が地域を分断し、一体的なまちづくりを妨げている。そこで、連続立体交差化とともに側道、駅前線及び駅前交通広場の整備を行うことで、踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消をめざし、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりを推進する。</p> <p>平成19・20年度 国費調査 平成21年度 新規着工準備採択</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び道路・鉄道利用者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<p>鉄道の連立化により既存の踏切(10箇所)を除却し、踏切事故や交通渋滞の抜本的解消を図るとともに、堺東駅については、駅前交通広場をはじめとする都市基盤整備を行うことで、中心市街地の活性化に寄与する。</p>				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>延長:約3km、踏切数:10箇所、立体化される駅:浅香山駅、堺東駅 関連事業として整備する都市計画道路、側道、駅前交通広場などを検討中</p> <p>事業の効果を定量化したうえで、令和2年度の都市計画決定に向けた手続きや環境影響評価を実施し、住民合意を得ながら検討・設計を進める。</p>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 南海電気鉄道株式会社、業務並びに工事の受注者					

Ⅲ. 投入量

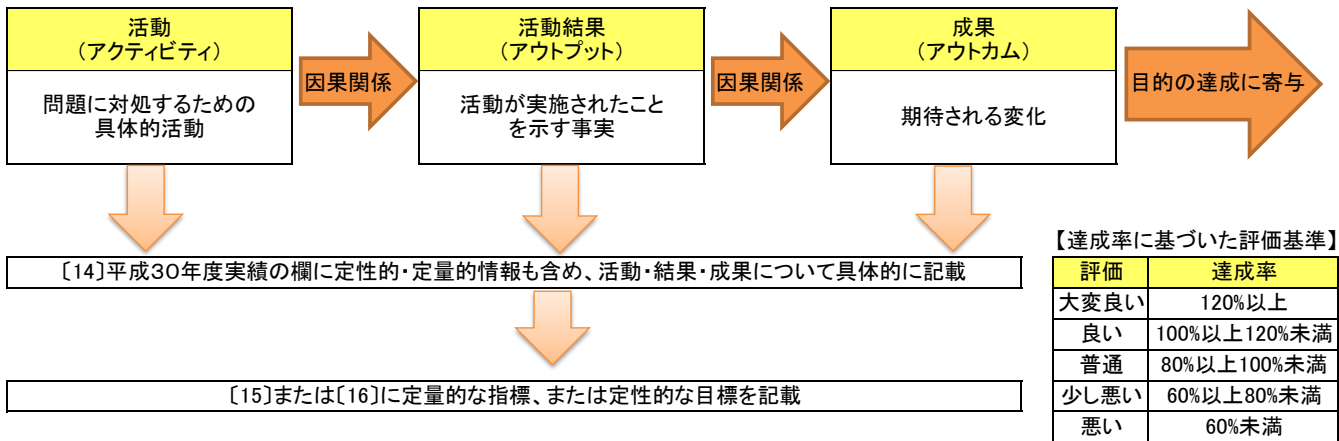
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算
11 事業費 (a)	千円	96,204	400	133,965	407,519
主な事業費内訳	委託業務等	千円	96,204	400	133,965
		千円			
		千円			
		千円			
財源内訳	国・府支出金	千円	41,415	0	55,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円			
	市債	千円	30,400	0	49,500
	その他()	千円			
12 人件費 (b)	千円	12,300	12,300	28,700	28,350
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	108,504	12,700	162,665	435,869

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	南海高野線連続立体交差事業	シート番号	19-62
-------	---------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は、都市計画決定に向けた手続きや環境影響評価などに着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画審議会にて事業概要説明 ・断層変位に対応する鉄道構造を反映した事業費の再算定 ・公共事業評価監視委員会にて事業再評価 ・沿線校区の会場にて事業概要説明会(8回)開催 ・環境影響評価(配慮計画書、方法書)の作成、公表、方法書説明会(3回)開催 ・駅前広場、関連都市計画道路の検討、鉄道構造物設計にかかるボーリング調査に着手 					
	15	目標					
	15	都市計画決定に向けた手続き					
	15	目標に対する実績	平成28年度 鉄道構造形式の検討、平成29年度 鉄道構造形式検討委員会からの提言、平成30年度 環境影響評価着手				
16	16	事業の地元合意					
	16	目標に対する実績	平成30年度 事業概要説明会8回、環境影響評価方法書説明会3回				

業績の分析

	17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	17	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の都市計画決定に向けて、上記の通り必要となる手続きを計画通りに進めることができた ・事業概要説明会8回、環境影響評価方法書説明会3回を実施し、事業実施について概ね同意を頂いた。参加者からの様々な意見については随時対応を行う予定。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。